

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

トヨコー 341A 東証グロース

企業情報はこちら >>>

2026年2月18日(水)

執筆：アナリスト

山本泰三

FISCO Ltd. Analyst Taizo Yamamoto



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

トヨコー | 2026年2月18日(水)
341A 東証グロース <https://www.toyokoh.com/ir/>

高い目標に対して順調、インフラメンテナンス技術で高成長

トヨコー <341A> は、老朽化した工場等の屋根を独自工法で塗装・防水工事を行う SOSEI（ソセイ）事業と、老朽化した橋梁・鉄塔など社会インフラのサビを除去する加工装置を製造・販売する CoolLaser（クーレーザー）事業を展開している。祖業でもある SOSEI 事業は安定収益源としての役割を担い、目下は社会インフラ老朽化が社会問題となるなか、成長事業である CoolLaser 事業に経営資源を多く投下してきた経緯がある。足元では同製品の市販モデル上市を受けて収益拡大中であり、社会課題の解決の観点も相まって、動向が注目されている。

社会インフラのサビを除去する加工装置を製造・販売する CoolLaser が急速な立ち上がり

1. 2026年3月期第3四半期の業績概要

2026年2月12日に発表された第3四半期決算は、売上高で前年同期比45.1%増の2,231百万円、営業利益で同77.8%増の469百万円と高い成長を見込む通期業績予想に対して、順調な推移。セグメント別では SOSEI 事業が売上高で前年同期比10.4%増の1,348百万円、営業利益で同16.9%増の521百万円、CoolLaser 事業が売上高で同179.1%増の882百万円、営業利益で139百万円（前年同期は52百万円の赤字）となり、CoolLaser 事業の立ち上がりが顕著である。CoolLaser の納入実績は今期累計で8台。

2. 2026年3月期の業績見通し

2026年3月期通期の業績は、売上高が前期比48.1%増の3,000百万円、営業利益は同92.5%増の580百万円、経常利益は同113.0%増の560百万円、当期純利益は同49.5%増の480百万円と、いずれも過去最高を更新する計画に変更はない。計画では、今期12台のCoolLaserの納品を想定している。2025年11月にCoolLaser の新工場が予定通り稼働開始した事を機に、2026年2月より受注生産から見込生産に切り替えている。売上高進捲率は第3四半期までの累計で予想比74%。業績予想ベースで今期残り4台の納入計画に対し、受注残高は6台（2025年12月）と順調に進捲している。

トヨコー | 2026年2月18日(水)
341A 東証グロース <https://www.toyokoh.com/ir/>

3. 中期経営計画の進捗状況

同社は2024年12月9日にCoolLaser事業の「中期経営計画」を発表している。2028年3月期までの各期の下限と上限の納品台数目標を設定しており、2026年3月期は9～15台、2027年3月期は16～24台、2028年3月期は35～65台としている。また、2026年3月期を1期とした時の5期目に当たる2030年3月期において120台を目標に掲げ、2028年3月期をめどに20百万円／台の原価低減も進めている。経済産業省より、産業標準化推進活動に優れた功績を有する個人及び組織を表彰する、令和7年度「産業標準化事業表彰」において、「イノベーション・環境局長表彰」を受賞も受賞している。足もとでは、独立行政法人国際協力機構（JICA）より、「2025年度中小企業・SDGsビジネス支援事業（JICA Biz）」に採択されるとともに、関越自動車道で横河ブリッジ社とCoolLaserを試験施工しており、営業活動も活性化しよう試算される国内市場規模800億円を踏まえると、拡大余地は著しく大きい。また、海外展開を見据えている点もアップサイド要素であり、2月12日にはCoolLaser初の海外受注を中東地域で獲得したと発表した（1台、納入時期2027年3月）。今後は、生産体制、保守・管理、人員採用、コーポレート・ガバナンスなど、規模拡大に伴う組織運営の強化も併せて確認ていきたい。

4. 株価

上場間もないこともあり、中期の事業に関するアナウンスは上記のCoolLaser事業の「中期経営計画」のみとなる。CoolLaserの120台販売という数値は、利益率が大きく変化しない前提を置いても、営業利益CAGRで+50%を上回る。足もとの株価は上場直後から上昇しているが、引き続きAI関連に見られるような高いPER評価を保ちながら、高い利益成長に応じた株価の切り上がりが想定でき得るシナリオということになる。

Key Points

- SOSEI事業とCoolLaser事業の2本柱
- CoolLaser事業は研究開発から収益化フェーズに入り、業績拡大中
- 2026年3月期業績は過去最高益。業績予想も達成が見込まれる
- インフラが老朽化するなか、国内外でのニーズは大きく、アップサイドは大きい

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用的結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443 (IRコンサルティング事業本部)

メールアドレス：support@fisco.co.jp